

桂川町社会福祉協議会だより

2023

No.181

令和5年8月16日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・FAX65-4555

メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

ずいずい広場は楽しいよ♪

Wa-Waさんによる
リフレッシュ事業の
ようす



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

令和五年度

委嘱状交付式 & 地域福祉講演会

6月24

日(土)に、

福祉部委

嘱状交付

式を開催

しました。

土師八区

の中嶋淑

恵福祉部

長に、33

行政区を

代表して

福祉部長

及び福祉員の委嘱状を受理していただ

きました。社協とともに、福祉部活動推

進において、ご協力をよろしくお願いし

ます。

交付式終了後は、樋口保健師(健康福

祉課健康推進係)から特定健診について

の説明がありました。特定健診は、高血

圧、糖尿病などの生活習慣病予防を目的

としています。健康でいることは自分

自身や家族のためでもあり、医療費の

抑制にもつながります。健康な方も通院

中の方も年に一回は健診を受けて、自身

の健康に向き合う機会としてほしいと

のお話がありました。



▲委嘱状を代表受理する土師八区福祉部長の中嶋淑恵氏

土師八区 福祉部活動報告

土師八区はとても小さく桂川町の端っこに位置し、70名(令和5年4月1日現在)の方々が生活しています。高齢化率は45.71%(令和5年4月1日現在 桂川町調べ)、35行政区中12位という地域です。



▲ひまわりカフェ



▲福祉部活動報告

土師八区福祉部は、月に一回は必ず活動しています。主に町主催の介護予防教室を取り入れ、身体や脳を動かしています。9月にはひまわりカフェを開催したところ、地域の参加者も多く、みんなが絵手紙を描き

ました。絵を描くことが得意な方もいれば不得意な方もいますが、それぞれ好きな絵を描いて楽しみました。今年からは敬老会やバスハイク、餅つきを予定しています。たくさんの方に参加していただき、もっと地域の交流を深めたいと思っています。

みんなで学ぼう！ 支え合う地域づくりの「ススメ」

講師 近所福祉クリエイター 酒井保氏

現在の日本は100歳以上の方が9万5000人を超えており、過去最多となっています。昭和45年の310人から53年連続最多更新しており、高齢化が進んでいます。そんな中新型コロナウイルスにより、地域活動が休止し、1日中家に居て誰とも会わない日が続いた結果、要介護認定を受ける人が増えているとお話されました。

人が衰えていくとき、健康な状態からフレイル(虚弱な状態)を経て、介護が必要な状態になります。健康な状態を長続きさせるためには、サロンや地域活動といった社会参加が重要です。社会に出て「つながり」をつくり、支え合うことが大事だと言われました。また、サロンや地域活動などに参加してつながりあうことが「社会性」の維持に役立ち、それが筋肉量の維持、フレイル予防につなが

ることでした。

今回の講演会はパワーポイントを使い分かりやすく、時折笑いを交えての面白い講演会でした。参加者の方からも「話し方が面白くて分かりやすい」「ユーモアを交え退屈なく聞かせて頂きました。」などと言った声がたくさん上がりました。



▲98名の方が熱心に講演会を聞きました

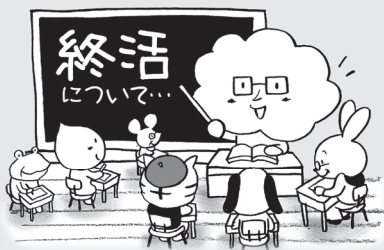
今を生き抜くために

今年で8回目となる終活セミナーを開催しました。毎年、多くの方に参加していただいているセミナーのため、感染予防対策をしたうえで、全4回のセミナーを行いました。

セミナーには合計で約100名の方にご参加いただき、大盛況でセミナーを締めくくる事が出来ました。今年度は、新たにデジタル終活の取り組みについてのお話があり、とても充実した内容になりました。「終活」に暗いイメージをもっていた方も先生のお話をきくなかで「やってみよう」、「家族と話そう」等、前向きに終活に取り組

まれている様子が伺えました。

終活に関することで、不安なことや分からないことがありましたら桂川町社会福祉協議会が実施している終活相談会をご利用ください。まだ終活を始めていない方も、「終わりの準備」ではなく「今を生き抜く」ためにも終活を始めてみませんか？



ひまわりの会でバスハイクに行きました

かえるがたくさんいるお寺で有名な飯塚市にある「こがえるでら正法寺」と昨年11月にオープンしたJA複合施設「カホテラス」に行きました。

こがえるでらでは、法話を聞き、幸せになるための3つの力や健康で長く生きていける秘訣『あいうえお・かきくけこ』を教えてもらいました。

また、今が一番若く、「もう〇歳」と言わず「まだ〇

歳」と言いましょう。法話が終わった後からすぐ皆さんは「私はまだ〇歳」と言われており、楽しそうでした。最後に「かえる部屋」に案内され、想像以上のかえるが壁一面にあり、ビックリしました。

お昼はカホテラスの中にある「やますい」に行きました。皆さん、豪華定食を目の前に周りの方たちと楽しそうにお話されながら美味しいご飯を食べていました。

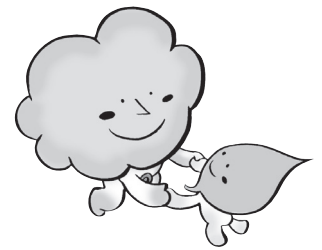
久しぶりのバスハイクで「楽しかった」「また行きたい」とたくさんの声が上がりました。



令和4年度

(令和5年3月31日現在)

決算事業報告



令和4年度の決算について、5月15日・16日に監査を受け、6月6日の理事会、27日の評議員会で承認されました。事業の収支を報告いたします。

●収入財源の内訳

(単位: %)

会費	寄附金	県補助金	県・町助成金	県・町受託金	事業収入	共同募金	学童	雑収入	その他
1.54	1.54	0.03	30.49	1.25	15.97	2.72	33.47	0.01	12.98

●事業活動・その他の活動による収支

(単位: 円)

経理区分	収入	支出
法人運営事業	29,146,480	28,914,981
地域福祉活動事業	13,220,171	13,220,171
生活福祉資金貸付事業	458,734	458,734
献血推進事業	252,000	252,000
共同募金配分金事業	2,689,900	2,689,900
部会事業	202,000	202,000
子育て支援事業	30,000	30,000
学童保育所事業	44,517,222	44,517,222
合計	90,516,507	90,285,008
当期資金収支差額合計		231,499

前期末支払資金残高	2,760,554
当期末支払資金残高	2,992,053

●財産目録

(単位: 円)

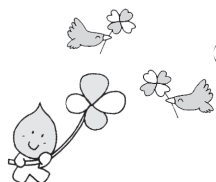
資産の部	資産の内訳	金額
流動資産 13,606,987	現金	0
	普通預金	10,053,990
	当座預金	1,301,590
	事業未収金	1,721,487
	未収金	0
	立替金	498,880
	仮払金	31,040
固定資産 13,103,903	基本財産	1,000,000
	その他の固定資産	8,905,236
	福祉事業積立預金	3,198,667
資産合計		26,710,890
負債の部	負債の内訳	金額
流動負債 11,638,369	事業未払金	9,445,719
	職員預り金	2,046,870
	前受金	145,580
	仮受金	200
固定負債	引当金(退職金)	11,612,440
負債合計		23,250,809
純資産の合計		3,460,081
負債及び純資産の合計		26,710,890



新役員紹介

桂川町社会福祉協議会は、町内の各種団体と組織から推薦された10名の理事・2名の監事、23名の評議員で運営しています。社会福祉法の改正により理事・監事と評議員の任期が異なることになり、今回は理事・監事のための改選となりました。評議員の一部変更もありますので、ご紹介します。また、旧役員の皆さま、任期期間中のご協力ありがとうございました。

理事(10名)					
氏名	選出母体	行政区	氏名	選出母体	行政区
会長			村上 清	老人クラブ連合会	土師七
田中 光朗	学識経験者	笹尾一	藤井 康貴	介護老人福祉施設 白藤の苑	弥 栄
副会長			瓜生 郁義	人権擁護委員会	土師二
河部 寛	民生児童委員協議会	笹尾一	伊藤 信子	食生活改善推進会	土師四
神崎 敏幸	区長会	寿命	大塚 和佳	議会	土居一
			右田よう子	ボランティア連絡協議会	土居三
			川野 寛明	学識経験 行政	土居一
監事(2名)					
原中 政道	財務管理識見者	吉隈二	栗原 和子	社会福祉事業識見者	瀬戸
評議員(変更)					
旧			新		
田原みさお	高齢者福祉施設等	弥栄	森本智佳美	高齢者福祉施設等	弥栄
佐藤 照子	障害者福祉施設	吉隈一	奥平 由希	障害者福祉施設	吉隈一
尾崎 龍司	飯塚保護区保護司会 桂川分区	弥栄	藤川珠磨子	飯塚保護区保護司会 桂川分区	土師七
伊藤 昇平	桂川町役場	土居一	齊藤 聖一	桂川町役場	土居一



賛助会費とは？

当社協は、区長会・民生児童委員協議会・福祉部・当事者団体・ボランティア団体・町内の福祉施設などと協力・連携をはかり地域福祉の推進に取り組んでいます。

桂川町社会福祉協議会の活動に賛同していただける住民の方に、地域福祉事業の活動にご支援いただくものです。当社協が進める事業の財源は、皆様からの賛助会費・共同募金・寄付金と町からの補助金・受託金などです。賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で、重要な財源です。ご協力よろしくお願いします。

令和4年度 賛助会費実績

255,000円(18.3%)

- ◎老人クラブ連合会
- ◎障害者関係連絡会
- ◎手をつなぐ育成会
- ◎衛生組合連合会

30,000円(2.1%)

- ◎リフレッシュ事業

404,543円(29.1%)

- ◎ホームページ運営費
◎運営事務費 など

1,393,500円

令和4年度は、皆さまのご理解とご協力により、多くの賛助会費を集めることができました。

役職員一同、
深く感謝申し上げます。

※賛助会費は、
社協収入財源の
1.92%です。

703,957円(50.5%)

- ◎福祉部活動事業の推進
- ◎レクリエーション・ボランティア
「クリップの会」派遣
- ◎サロン「ほっとスペース」
- ◎終活セミナー
- ◎新1年生防犯啓発 など

令和5年度 賛助会費のお願い

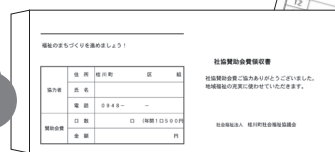
賛助会費制となり43年目となります。令和4年度は、皆様のご理解・ご協力により、**1,393,500円**集まりました。この賛助会費は、地域福祉事業の活動に役立てられています。

令和5年度も、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』を推進するために、福祉のまちづくりに役立てていきますので、ご協力お願いいたします。

隣組長さんへのお願い

お忙しい中、大変ご迷惑をお掛けしますが、隣組長は指定の封筒に取りまとめの上、**9月30日(土)**までに区長へお渡しいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1口
500円



桂川町社会福祉協議会
公式LINEを開設しました

桂川町社会福祉協議会の公式LINEでは行事や事業に関するお知らせ等を発信しています。
まだまだお友だちを集めているのでぜひ登録をお願いします。

ID:@854vorfkで検索または、
QRコードで友達追加をお願いします。



風のたより(表面)作成者
およびアイデアを募集しています

毎月1回、民生委員さんが配布している「風のたより」を作成していただける方を募集しています。

作成だけではなく、「この短歌・俳句は素晴らしい!」、「この記事을載せてほしい」、「この記事が役立った」などの情報を提供していただだけでも大歓迎です!

ご協力よろしくお願ひいたします。

桂川町社会福祉協議会 問合せ:65-2271

このコーナーでは、町内の施設や、ボランティア団体などを紹介していきます



福祉作業所
GSグリーン桂川
桂川町大字吉隈1143
TEL: 0948-20-2050
FAX: 0948-20-2050



『七夕祭り』

GSグリーンの桂川では季節ごとの行事を大切にしています。7月は七夕祭りです。毎年、近

隣の方にも楽しんで頂けるよう施設の隣の敷地に飾りつけを行い展示しています。七夕以外にもクリスマス、お正月、ひな祭りなど季節ごとにさまざまな展示を行ってきました。中には楽しみに待っていて下さる近所の方々や、わざわざ足を運んで記念写真を撮影していただける方もおられます。

今年は連日続いた雨の影響により、舞台の設置準備がなかなかできない日が続きました。その間、利用者の方々が短冊や七夕飾りを折り紙で製作したり、今年は新たに願掛けとして笑い竹を作って飾っています。笑い竹は竹を切って一つずつ丁寧に磨き上げ作りました。

飾りつけから設置まで利用者の方々と共に行いました。

せっかくの七夕の日は雨となりましたので、数日遅れの七夕祭りになりましたが、スイカやかき氷などを食べて楽しい時間を過ごすことができました。



大村



ボランティア団体
桂川手話の会
問合せ: 桂川町社会福祉協議会
TEL: 0948-65-2271



桂川手話の会紹介

昭和62年に聴覚障がい者との交流を深め、豊かな地域作りの一環として寄与することを目的に結成しました。

毎週木曜日(昼の部・夜の部)の定例会や野外研修・スポーツ交流・料理教室・幼稚園や小学校への手話指導等の内容を定める役員会の体制を整え、楽しく活動してきました。

コロナ禍でいろいろな活動を中止せざるを得ない時でも、社協から委託された昼間の短期手話講習会と行政から委託の奉仕員入門養成講座は続行し、会員の確保につながりました。



結成30周年記念式典を終えて、講習会を終了した方たちのパワーで定例会などの活動にも活気ができました。9月21日から昼間の短期手話講習会を開催します。少しでも興味がある方は、一度定例会に遊びに来てください。

右田よう子

お知らせ

福祉のつどい ～ひまわりフェスタ2023～

昨年度同様、今年度も講演会を行います。

日時 9月24日(日) 11時～12時15分
場所 住民センター 大ホール
講師 九州国際重粒子線がん治療センター
SAGAHIMAT(サガハイマツト)職員
演題 心と体にやさしい重粒子線がん治療

地域でできるレクリエーション講座

福祉部や団体の集まりで活用できるように、レクリエーションを学びます。

日時 11月7日(火)、28日(火)
10時～11時30分
場所 健康福祉センター「ひまわりの里」
内容 社協によるレクリエーションや手作りの会の方と紙コップを使った工作を行います

短期手話講習会

手話に興味のある方、一緒にやってみませんか？
初めての方でも大丈夫です！

簡単な挨拶などの日常的に使う手話を聴覚障がい者から学びます。

期間 令和5年9月21日～12月7日迄
毎週木曜日 祝日休講
時間 午後2時～3時30分
場所 桂川町人権センター(旧隣保館)
講習費 1,000円(ボランティア保険代含む)
申し込み 桂川町社会福祉協議会
(いきいきセンター桂寿苑内)
TEL:0948-65-2271
FAX:0948-65-4555
締切り 令和5年9月14日
(締切後も随時受け付けます)

寄付をいただきました

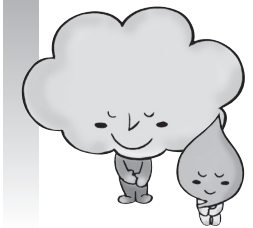
3月23日・8月3日に株式会社ダイナム福岡桂川店様より、食料品などの寄付をいただきました。

ダイナムグループ様は、全国各店舗にある社会福祉協議会に、地域貢献の一環として、さまざまなものを寄付されているとのこと。寄付いただいた物品は、当協議会主催のイベント等で有難く活用させていただきます。



問合・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

ありがとうございます
ごちそうでした



令和5年5月1日～令和5年7月31日
香典返し寄付金

●土師二 野上 昭則様(故母ハル子様)
●土師四 西郷 久代様(故夫 福喜様)
●弥栄 武田 久様(故妻 知恵様)
●笹尾 齊藤 眞由美様(故夫 裕様)
●天道 正實 眞由美様(故夫 勝様)
●飯塚市 北原 征子様(故夫 義男様)
寄付金合計 165,356円



託児ボランティア養成講座

子どもの見守りや一緒に遊んでいただく託児ボランティアを養成する講座を開催します。資格は特に必要ありません。子育て経験やちょっとした時間を利用して、子育てボランティアに参加してみませんか？

第1回目	9月27日(水)	平成と令和の子育て(Wa-Wa)
第2回目	10月 5日(木)	救命講習(日本赤十字社)
第3回目	10月18日(水)	託児体験(Wa-Wa)

時間 10時～12時
場所 いきいきセンター桂寿苑
参加費 無料(託児が必要な方はご相談ください)
定員 10人(要申込)
申込 各講座の1週間前まで
※第2回と第3回は実技を伴いますので、動きやすい服装でご参加ください。※新型コロナウイルス感染状況によっては中止となる場合があります。

リフレッシュ事業 ～子育て支援wa-waによる託児～

お子さまをお預かりしている間に、ゆっくりとした自由な時間を過ごしませんか？(日頃できない買い物、美容院、図書館へ…)

日時 8月30日・9月20日・10月18日・11月15日・12月20日
1月17日・2月21日・3月21日
時間 10時30分～13時30分
場所 いきいきセンター「桂寿苑」 すくすく広場
定員 10名(生後3カ月からお預かりします)
託児料 1回100円/1人(おやつ代含む)
持参物 お弁当・飲み物・着替え・その他必要な物
託児 子育て支援「Wa-Wa」が担当





このひとに聞きました

たなか ちづよ
田中 千津代さん



プロフィール

- ◎年齢 72歳
- ◎住所 笹尾一
- ◎趣味 手芸、刺し子、タペストリー

■聞き手
穂坂 靖

子育て支援Wawaを設立して約20年、会長を務めている田中千津代さんにWawaを始めたきっかけ、やりがいについて話を聞きました。

Q1 子育て支援Wawaを始めたきっかけ

平成13年まで主人の親の介護のため仕事を辞めていて、介護が終わって仕事に戻ろうと考えましたが、仕事復帰するのはちよつと...と思い、社協の個人ボランティアに登録しました。また、介護ヘルパーの資格を取り、白藤の苑などでボランティアをしていました。平成15年に託児ボランティアの講座を受けた人たちと一緒に「子育て支援Wawa」を立ち上げました。「Wawa」は中国語で赤ちゃんという意味から名前になりました。立ち上げた時からずっと会長をして約20年続けています。

Q2 やりがいや喜びはありますか？

最初は泣いていた子がだんだん

慣れて笑顔で遊んでいる姿を見たときや、成長して何歳になっても覚えてくれていて声をかけてくれることは嬉しいです。また預かったことがある子のお母さんに町で会った時に子どもの成長を教えてくださいることや成人式の写真まで送ってくれることはとても嬉しいし、続けていくのが良かったと思います。

Q3 Wawaの他にもボランティアをしていますか？

たすけあい桂川に登録し、93歳のおばあちゃんの話し相手や手をつなぐ育成会の会長をしています。また息子が利用している施設の会長もしています。

Q4 今後の目標は？

今は夕方に孫を預かっているので、大きくなり手が離れたら自分の時間をつくり、習い事とかしてみたいです。木目込みを真剣に習いたいです。

頼りにされたい 役に立ちたい それが元気の秘訣

編集後記

以前、編集後記を担当した時に「今年こそ断捨離を実行しよう」と書いたと思います。では数年たって、実行状況は？と問われると、全く出来てないわけではないけれど、思ったほどには進んでいません。やり方が良くなかったのでしょうか。どうやったかと言うと、家の中の区切られた空間をひとつずつ攻めようと思いました。納戸・押入れ・家具・棚・それぞれの中にある箱や籠・引き出しの中など。

やり始めて気が付いたのは、決定力のなさ。大きな物から小さなものまで、捨てるべきか捨てるべきかをなかなか決められないです。今使う事のあるものは、もちろん置いておきます。しかし、多分使うことはないだろうと思えるもの、特に人からいただいた物・遺品・衣服・それに百冊をゆうに超えるコミックと本。まあ、それでも、やめるわけにはいかないので、少しずつですが続けてきました。

ですが、ふと気がつけば、70歳をすぎている老人が鏡に映っていました。残された時間は少なくなっているじゃないかということに今さらながら気が付きました。これは、少々急がないといけないと思いました。自分なりに選び方を変えることにしました。

これからは、こののち数年は使う物と「自分がそばに置いて心地良いと思える物」を残しておくことにしました。

この方法で後期高齢者になるまでに家の中が心地良い空間になればいいなと願っています。

広報部員 今田貴美子



鉛筆画：ハエ取り蜘蛛
古後睦子さん

サロンに参加して健康寿命を延ばそう！



いきいきサロン「ほっとスペース」は毎月6回～7回ほど社協内の部屋を開放し、手芸やコミュニケーション麻雀等をして自由に過ごしていただいています。

サロンではたくさんのイベントを行っています。

7月は「七夕づくり」として短冊に願い事を書いてもらいました。平和・健康のことなど願いはさまざまです。

桂寿苑内の学童を利用してくださる子も短冊を書いてくれました。将来の夢や家族の幸せなどたくさんの願い事をしていました。たくさんの願い事を書かれた笹の葉は豪華になり、社協の玄関が明るくなりました。

今後またたくさんの方の参加をお待ちしております。

【今後のイベント】

- 10月30日(月)：コミュニケーション麻雀大会
- 3月28日(木)：ピンゴ大会

(参加費がかかるかもしれません)

※奇数月には包丁研ぎをボランティアさんに行っているだいています。